

## 2010年9月6日（月）入学 新入生の紹介



■2010年度2学期から、2名の新入生が学びをスタートしました。学院の通信コースで学んでいる中で、導かれて本科への入学を決意しました。期待に胸を膨らませるお二人の学院生活の為に祈りください。以下は入学までのお二人の証しです。



坂本 清憲



坂本 麗名

こんにちは。私たちは福島県いわき市にある「アンバサダー・キリスト教会」からイエス・キリストにより導かれ CFNJ 聖書学院に夫婦と一緒に入学しました。今回は、その導きの経緯とその後の学院生活での祝福の証をしたいと思います。

わたしは2010年1月にCFNJの通信教育を始め、その学びのなかで豊かな霊的成長があり、ぜひ学院へ進学したいという思いが与えられましたが、その年の3月に原因不明の髄膜炎という病気で緊急入院しました。入院中は、体は衰弱していましたが、神様からの力強い御言葉(II コリ 12:9)の励ましや妻の支えもあり、心に平安が与えられ、退院後の神様の導きについて祈る時が与え



られました。退院後は、就職をするか、神学校へ進むかの二つの道で迷いましたが、神様は私たちを神学校へと導いているように感じ、経済的な不安はありましたが、できる限りのベストを尽くそうと思い、妻と二人でまずは願書を提出しました。その後しばらくすると合格通知が届きましたが、その時点ではまったく資金がありませんでした。しかし、これが神様の導きであり、御心であれば、必ず道は開けるだろうと信じ、断食をして祈り求めると、神様からの応答は思ったよりも早く、妻の会社から出ないはずの臨時ボーナスが突然支給されたり、教会では、「神様が示したので。」と言ってたくさんの方から祈りとともに献金をいただきました。そのような出来事のあとも、今までに経験したことがないような神様の力強い臨在と御手の働きにより、すべてが与えられ、すべてが整えられ、気がつけばこの学院へ入学してい

ました。

学院への入学後、私たちの夫婦関係は、学びを通して大きく変化していきました。以前は、互いの価値観の違いなどから言い争うことも多くありましたが、夫婦共に同じ学びをする中で、私たちにひとつの御言葉が与えられました。「信仰による祈りは、病む人を回復させます。主はその人を立たせてくださいます。また、もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。」(ヤコブの手紙5：15-16)

この御言葉と学院での学びを通して、私たちはお互いの中に弱さがあることを知り、その弱さを認め、理解することができました。そのことによって、お互いのために祈りあう時をもつようになり、この御言葉のように、互いの過去の傷が癒されてゆき、それぞれに持っていた怒りや許せない思いが取り除かれるという回復の癒しがおきていきました。その結果、私たち夫婦の関係が祝福されてゆき、二人の仲が深まりました。これからの学院生活においても神様からの豊かな祝福と恵みとが私たちを追ってくるでしょう。

学院へ導いて下さったイエス様と、励ましと喜びをもって送り出してくれたアンバサダー・キリスト教会のトーマス先生ご夫妻、また、祈りをもって私たちを迎え入れてくださったCFNJ聖書学院の皆様にご心からの感謝と喜びを、今主の前に～♪今主の前に～♪